

喫煙・受動喫煙の曝露時期と乳がん罹患リスクの関連分析

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査に参加した女性

2. 研究期間

研究実施許可後～2029年12月31日まで

3. 研究目的・方法

喫煙は肺がんをはじめとする多くのがんのリスク因子として確立されていますが、乳がんとの関連については国際的に議論が続いています。特に乳腺が発達・分化する若年期から出産前における喫煙曝露や、家庭・職場における受動喫煙の影響は十分に解明されていません。本研究は、日本人女性における喫煙および受動喫煙と乳がん罹患リスクとの関連を明らかにすることを目的としています。具体的には、喫煙開始時期と乳がん罹患との関係を検証し、家庭内や職場における受動喫煙曝露が乳がん罹患に及ぼす影響を評価します。

本研究では、JPHC、JPHC-NEXT、J-MICC 研究、および東北メディカル・メガバンク機構 (ToMMo)、いわて東北メディカル・メガバンク機構 (IMM) の5つのコホートから、約20万人を対象とします。喫煙および受動喫煙への曝露については、時期（喫煙開始年齢、初産年齢との関係、小児期および成人期の受動喫煙）や量（累積曝露期間、喫煙本数）を指標とし、乳がん罹患に対するハザード比と95%信頼区間を推定します。解析にはコックス比例ハザードモデルを用い、年齢、Body Mass Index、飲酒、生殖要因などの交絡因子を調整します。

4. 研究に用いる試料・情報

基本情報：年齢、調査参加年等

調査表情報：身長、体重、喫煙習慣、飲酒習慣、妊娠経験、閉経状況、既往歴等

がん罹患情報：がんの種類、罹患年月日等

異動情報：死亡年月日、転出年月日等

本研究は東北メディカル・メガバンク計画の一部として実施するため、データは本計画に沿って研究期間終了後も引き続き保管・活用されます。

5. 外部への試料・情報の提供

個人が同定されない統計解析の結果を国立がん研究センターへ送ります。

6. 研究組織

研究代表機関および研究代表者

和田 恵子 国立がん研究センターがん対策研究所予防研究部・室長

共同研究機関

澤田 典絵 国立がん研究センターがん対策研究所コホート研究部・室長

井上 真奈美 国立がん研究センターがん対策研究所予防研究部・部長

田中 詩織 国立がん研究センターがん対策研究所予防研究部・室長

谷爲 茉里奈 国立がん研究センターがん対策研究所予防研究部・特任研究員

寶澤 篤 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野・教授

中谷 直樹 東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門・教授

小原 拓 東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門・准教授

小暮 真奈 東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門・講師
松尾 恵太郎 愛知県がんセンター研究所がん予防研究分野・分野長
小柳 友理子 愛知県がんセンター研究所がん予防研究分野・ユニット長

7. 研究費および利益相反

研究費は国立がん研究センター研究開発費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて参加者さんもしくは参加者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも参加者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目 1 番 1 号

TEL：019-651-5110（内線：5458）

E-mail：nagaim@iwate-med.ac.jp

岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構 永井 雅人

研究責任者：

岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構 丹野 高三

研究代表者：

国立がん研究センターがん対策研究所予防研究部 和田 恵子

-----以上